

## 第70回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2017年7月25日（火） 10:00～12:00

2. 場 所：東京理科大学 森戸記念館 第2会議室

3. 出席者（役職順/所属順、敬称略）

日高 邦彦（議長）、石川 孝重（副議長）、札野 順（幹事）、鎌田 潤一（幹事）、  
石橋 邦夫（幹事）、丸山 信（委員）、夏 恒（委員）、本間 重一（委員）、  
桑江 良明（委員）、中野 智仁（委員）、三木 哲也（委員・アドバイザー）、  
吉開 範章（委員）、岡田 博（委員）、川上 理英（オブザーバ）

4. 議題

- ①前回議事録(案)について（審議）
- ②委員の交代について（報告）
- ③倫理協議会Web掲載実績（報告）
- ④会員からの情報（報告）
- ⑤会員活動報告について（報告）
- ⑥第13回公開シンポジウムプログラム案について（審議）
- ⑦次回第71回以降協議会日程について（再確認および決定）
- ⑧その他（意見交換会）

5. 議事

①前回議事録案にて、議事内容の確認、審議を行い、原案は承認された。

②6/28付 理事会承認：委員（報告事項）の交代について報告した。

・日本技術士会：（橋本 義平）委員から（桑江 良明）新委員へ交代。

・日本技術士会技術倫理協議会担当

<事業担当理事>（苗村 健）委員、（酒井 潤一）委員から（西山 繁）新委員へ交代。<

<財務担当理事>（土井 美和子）新委員 就任。

③倫理協議会Web掲載実績について報告した。（電気学会第10回技術者倫理研修会開催案内）

④会員からの情報として、池田アドバイザーからの資料を紹介した。

・（一社）日本医学会連合研究倫理委員会の下記提言が2017年7月20日付で発行。

提言「わが国の医学研究倫理に関する現状分析と信頼回復へ向けて」

⑤第13回公開シンポジウム（11月20日（月）、13:00～ 森戸記念館第1フォーラム予定）

のプログラム案について審議した。テーマは「人工知能と技術倫理」と決定していたが、今回、副題を、「未来社会に向けての技術者・研究者と社会との協働」とすることを決定した。

⑥各学協会活動状況について、末尾の表の記載内容に基づき報告があった。

⑦次回第71回以降協議会日程について以下を決定した。

・次回、第71回協議会 10月2日（月） 15:00～17:00 森戸記念会館第2会議室

・次々回、第72回協議会 11月13日（月） 10:00～12:00 森戸記念会館第2会議室

⑧日本技術士会倫理委員会 前委員長である本間 委員から、『技術者倫理に関する活動状況』と題して、紹介いただき、議論した。

第70回技術倫理協議会（2017年7月25日）会員学協会活動報告

	学協会名	報告概要
1	電気学会	<p>(1) 6月30日第40回倫理委員会を開催。 トピックとしては</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年3月開催予定の春の全国大会シンポジウム（於：九州大学）へ提案するテーマの検討。</li> <li>・事例集（第2集）の2刷発行について。</li> </ul> <p>(2) 7月14日 平成29年度第2回倫理委員会教育WG開催。主に、8月22日に一般公募（有料）で開催予定の「第10回技術者倫理研修会」の準備について議論、決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：「近未来社会のデザインと技術者倫理」 ＜～誰が、何を、どのように意思決定したら良いのか～＞</li> <li>・講師&amp;パネリスト <ul style="list-style-type: none"> <li>○城山 英明 氏（東京大学公共政策大学院 法学政治学研究科 教授）</li> <li>○山口 彰 氏（東京大学大学院工学研究科 原子力専攻 教授）</li> <li>○島菌 進 氏（上智大学大学院実践宗教学研究科 教授、同グリーンケア研究所 所長）（東京大学名誉教授）</li> </ul> </li> </ul>
2	電子情報通信学会	<p>(1) 5月31日～6月1日、放送大学東京文京学習センターにて、知的財産&amp;デジタルコンテンツをテーマに、技術と社会・倫理研究会を開催し、1件の招待講演（三宅秀道（専修大）：地方中小企業の経営文化へのICTの影響）と11件の一般講演があった。</p> <p>(2) 7月14日～15日、内田洋行東京本社ショールームにて、セキュリティをテーマに、情報セキュリティ研究会、情報通信システムセキュリティ研究会、マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究と共催で、技術と社会・倫理研究会を開催し、49件の一般講演があった。</p> <p>(3) 事例集の公開に向けて、準備中。</p>
3	土木学会	<p>7月11日に「倫理・社会規範委員会教育小委員会（秀島委員長（名古屋工業大学））が開催され、昨年度活動報告、今年度活動計画を討議した。</p> <p>一方的な講義は理解度が分かりにくく、グループ討議を取り入れるたほうが有効であるとの報告があった</p> <p>参考情報として、日工教WSの報告を紹介した。土木学会昨年度作成ツールとベクトルはどういつであり、考え方として使わせていただきたいという意見が多数であった。</p>
4	日本化学会	報告なし
5	日本機械学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年度JSME年次大会の特別行事（市民フォーラム）として開催予定の「未来社会の幸せと倫理」（9月4日開催）の企画を行っている。</li> <li>・技術倫理委員会のWEB発信記事を検討している。</li> <li>・日本機械学会倫理規定の英文化を検討している。</li> </ul>

6	日本技術士会	<p>倫理委員会を6/15に開催し、小委員会・WGからの活動報告等を受け、以下の事項等を検討・審議。</p> <p>(1) 啓発小委員会：5月15日、学士会館で開催された「第9回技術者倫理シンポジウム」（「科学技術の進展と社会への影響～リスクとどう向き合うか～」のテーマ）は、参加者105名、アンケート回答83名で高回答。アンケートの全体評価は、87%が好評価。</p> <p>(2) 綱領小委員会：「技術士倫理綱領」の基本綱領（公正かつ誠実な実行）に「利益相反の事態回避」の文言追加の是非と、「公共の安全確保」を綱領に新規追加することの是非について議論。</p> <p>(3) 情報小委員会：来年度の技術士全国大会（山口市で10月中旬開催）の「技術者倫理ワークショップ」は従来の形態ではなく、中国本部方針により分科会形式で開催するが、その分科会の準備状況を確認。月刊『技術士』の12月号以降の倫理シリーズは、主要学会の技術倫理活動をテーマとする計画で、各部会から関係の深い学会等に執筆を依頼する文書の内容を検討。</p> <p>(4) 倫理教育検討WG：以下の事項を議論・検討。 WGメンバから提示された資料に基づき、技術者倫理教材の在り方を議論。具体的な形になると、作成者の個性が出て来るので、原点に戻って、日工教・技術者倫理調査研究委員会のモジュール型モデル・シラバスに従い、キーワードを整理する方向。</p> <p>(5) その他 委員任期中（2年間）の活動を小委員会・WG毎に活動報告書にまとめ、その内容に関し、活動状況・活動成果、次期委員会への引継事項等を確認。</p>
7	日本原子力学会	<p>5/24、6/16、7/11に委員会を開催。次回9/6予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9/14に原子力学会秋の大会（北海道大学）で「災害に備えるために必要となる原子力関係者の倫理」と題し、企画セッションを開催予定。</li> <li>・倫理規程の定期見直し（見直し方針：①読みやすさ、伝わりやすさを追及、②関係者のモチベーション維持に配慮、③社会との良い関係構築を配慮）実施中。2017年度中の改訂を予定。</li> <li>・原子力発電所再稼働にかかわる審査、承認事例に関する検討・協議を継続。</li> </ul>
8	日本建築学会	<p>倫理委員会（7月12日開催）において、小委員会報告があり、「建築と都市における、実践・行動倫理の方法」について意見交換を行った。</p>
9	日本工学教育協会	報告なし
10	日本非破壊検査協会	報告なし
11	日本マリンエンジニアリング学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JIME CPD 基礎コース講習会[平成29年8月24日(木)、三宮研修センター]において、「技術者倫理」（1コマ）の講義を予定している。また、倫理規定の見直し中である。</li> </ul>

以上